

日本共産党市議会議員団 週刊 議会報告

発行

日本共産党市議団

岡野長寿

0845-22-2596

魚谷さとる

0848-22-2810

保守、市民連合、公明が学校統合案に賛成し可決 岡野団長が修正案を提案、魚谷議員が反対討論

9月議会最終日の9月20日(水)午後、本会議で土堂小など3小学校と長江中など2校を廃止する条例案などの採決が行われ、共産党市議団は反対しましたが、保守、市民連合、公明党が賛成し、3分の2以上でこの議案は採択されたため、3小学校と2中学校は令和7年度から廃止されることが決まりました。

共産党岡野議員が、設計費2億5千万円を 削除した修正案を提案、否決に

補正予算の中には、学校統合を前提にした新校舎の設計費2億5千万円が計上されています。しかし、共産党の岡野、魚谷の両議員と冠議員が提出者となり、補正予算の中の設計費分2億5千万円を削除した修正案を提出していました。修正案の提案説明に立った岡野議員は、補正予算の内、統合校建設のための設計費は統合を

学校統合案への各議員の態度 (敬称略)

会派	議員名	態度
共産党	岡野、魚谷	反対
参政党	冠	反対
潮風	前田、石森、村井	反対
おのみち	巻幡、新田	賛成
木曜会	大本、土屋、中西 星野	賛成
市民連合	山根、岡田、檀上 松原	賛成
公明党	福原、岡村、村上	賛成
平成会	二宮、佐藤、吉和	賛成
青嵐会	宮地、高本、村上	賛成
新誠会	藤本、宇根本、新地	賛成

共産党提案の「保険証継続」と「保育士配置基準の見直し」を求める意見書が採択に

9月議会には以前紹介したように、2つの意見書を提案していました。ひとつは、広島県保険医協会から依頼された「健康保険証の継続を求める意見書(案)」ともうひとつは「保育士の配置基準の見直しを

求める意見書(案)です。2案とも20日の本会議で採決が行われ、賛成多数で採択され、尾道市民の意思として国へ送付されることになりました。本会議に先立って行われた議会運営委員会では、各

◎保険証の存続を求める意見書(案)に反対した議員 (敬称略)

会派	議員
木曜会	大本、星野
公明党	福原、岡村、村上
平成会	二宮、佐藤
新誠会	宇根本、新地

※議長は賛否に加わらず、藤本議員は保留。

◎保育士配置基準の見直しを求める意見書(案)に反対した議員 (敬称略)

会派	議員
木曜会	大本
公明党	福原、岡村、村上
平成会	二宮
新誠会	宇根本、新地

※議長は賛否に加わらず、藤本議員は保留。

魚谷議員が「合意のない統合には反対」と 4つの理由を述べ反対討論

共産党議員団を代表して、議案の討論に立った魚谷議員は、4つの反対する理由を述べました。第一は、統合について関係者の理解が得られていないこと。土堂地区ではアンケートが行われ多くの人が統合に反対していた。その他の地区では、説明会の参加は1%程度で、参加できなかった人は賛成だと思っていると都合のいい判断をし

第二は、統合する理由に合理性がないこと。3つの検討項目①土砂災害警戒区域にあること、②校舎の耐久性がないこと、③適正な学校規模の確保が必要と統合の理由としているが、①は、4割以上の小学校が特別警戒区域にある、②は、80年以上の建物を耐震改修して「バンク」として市は使っている、③は、全学年

複数のクラスあるのは小学校の4分の1にしかないことなど。第三の理由は、市内中心部の小学校の廃校は、魅力のない町になり、若い人は来ないこと。第四の理由は、財政的に問題があること。新築に6億4千万円をかけようとしているが、5年後に39億円の財源不足が生じると言っていることと矛盾すること。